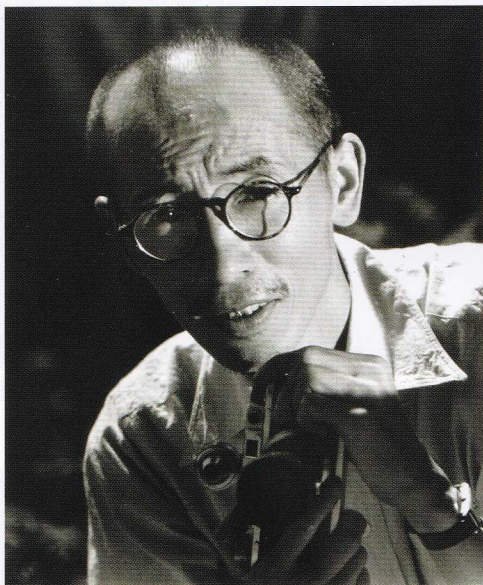


ミニ企画展

～作画の能手～

# 佐藤虹二風景写真展



自画像 昭和20年



たなばた 昭和25年

～ごあいさつ～

私たちの郷土・熊谷に埼玉県で初めての写真館・吉原写真館ができたのが明治6年のこととされています。そして明治初期から中期にかけて小原写真館(後の小暮写真館)や増田写真館、中沢麗泉の真雅堂写真館など、多くの写真館が開業されました。

こうした環境もあってか、プロ顔負けのアマチュア写真家が多く育ち、昭和4年に「熊谷白陽会」(現在の「熊谷白陽写真会」)が創立されました。この中心メンバーとして活躍した人物に、佐藤虹二があげられます。

明治44年に生まれた佐藤虹二は若くして才能を認められ、昭和5、6年頃から写真雑誌などで特選を重ね、華々しく中央にデビューしました。そして東京写真連盟の創立同人となるなど、近代写真の推進者の一人として活躍し“作画の能手”と謳われました。後に昭和30年に43歳という若さで亡くなるまで作品を制作し続け、全国的に有名な写真家 土門拳などとも一緒に活動するなど、活躍の場を全国に広げていきました。その類まれなセンスで切り取られた風景や人物の作品は、その構図の妙と写真技術の素晴らしさを感じさせます。

また、地元熊谷では、昭和4(1929)年「熊谷白陽会」の創立時からの会員となり、中心メンバーとして活躍、地元写真愛好家の育成指導に力を注ぎました。さらに昭和25年から始まった県展の審査員となり、熊谷だけでなく県内の写真技術の向上と新進写真家の育成にも尽力しました。

今回のミニ企画展では、主に佐藤虹二の風景写真にスポットをあてます。その作品はモノクロであるにもかかわらず色が浮かんで見えてくるようで、作品の表現力、そしてモノクロの真髄を感じさせ、見るものの心になつかしさと静かな感動を与えてくれます。これらの作品を通して、あらためて佐藤虹二の作品の素晴らしさに触れていただければ幸いです。

会期：平成28年5月31日(火)～9月4日(日)

[休館日：毎週月曜日(祝日は除く)、6/3、7/1、7/19、8/5、8/12、9/2]

会場：熊谷市立熊谷図書館 3階 郷土資料展示室

時間：午前9時～午後5時

主催：熊谷市立熊谷図書館

住所：熊谷市桜木町2-33-2

電話：048-525-9463





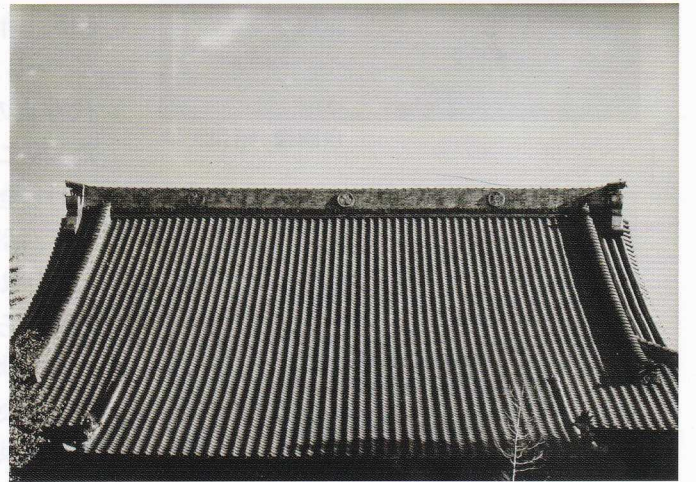
三軒家 昭和23年 月刊誌『光画』



南風 昭和14年 東京写真作家連盟展



夏 昭和8年 月刊カメラ誌



臺 1 昭和23年 遺作展



熊谷堤にて



夕陽 昭和11年 月刊カメラ誌